【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-264686(P2003-264686A)
【公開日】平成15年9月19日(2003.9.19)
【出願番号】特願2002-64308(P2002-64308)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｇ０６Ｔ　1/00
　Ｈ０４Ｎ　1/405
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｇ０６Ｔ　1/00　５００Ｂ
　Ｈ０４Ｎ　1/40　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月6日(2005.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　印刷画像作成時に利用する中間調処理のパラメータ情報と、前記印刷画像の属性情報との、対応関係を記憶する記憶手段と、
　前記印刷画像を読取り、画像データを得る読取手段と、
　前記画像データから、前記印刷画像作成に使用された前記中間調処理のパラメータ情報を検出する検出手段と、を有し、
　前記中間調処理のパラメータ情報を使用して、前記記憶手段から、前記属性情報を取り出すことを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
　前記中間調処理のパラメータ情報とは、該中間調処理の位相、周期、波形、のいずれか１つの情報であることを特徴とする請求項１記載の画像処理装置。
【請求項３】
　前記属性情報とは、前記印刷画像の格納場所、作成日時、および作成者、のうち少なくとも１つの情報であることを特徴とする請求項１乃至２に記載の画像処理装置。
【請求項４】
　前記印刷画像の複数の色成分に対する複数の前記中間調処理のパラメータによって取りうる全組合わせ中の一部分に、使用しない組合わせを設けたことを特徴とする請求項１乃至３に記載の画像処理装置。
【請求項５】
　各前記中間調処理のパラメータ値に対し、複数の前記属性情報との対応を、前記記憶手段に記憶することを特徴とする請求項１乃至４に記載の画像処理装置。
【請求項６】
　前記検出手段は、前記画像データ中の基準位置を示すパターンに基づいて前記中間調処理のパラメータ情報を検出することを特徴とする請求項１乃至５に記載の画像処理装置。
【請求項７】
　前記検出手段は、前記画像データ中、ある特定の範囲内のみで検出を行うことを特徴と

する請求項１乃至６に記載の画像処理装置。
【請求項８】
印刷画像作成時に利用する中間調処理のパラメータ情報と、前記印刷画像の属性情報との、対応関係を記憶する記憶工程と、
前記印刷画像を読取り、画像データを得る読取工程と、
前記画像データから、前記印刷画像作成に使用された前記中間調処理のパラメータ情報を検出する検出工程と、を有し、
前記中間調処理のパラメータ情報を使用して、前記記憶工程により記憶した前記属性情報を取り出すことを特徴とする画像処理方法。
【請求項９】
請求項８に記載された画像処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とする画像処理プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、請求項１記載の発明は、印刷画像作成時に利用する中間調処理のパラメータ情報と、前記印刷画像の属性情報との、対応関係を記憶する記憶手段と、前記印刷画像を読取り、画像データを得る読取手段と、前記画像データから、前記印刷画像作成に使用された前記中間調処理のパラメータ情報を検出する検出手段と、を有し、前記中間調処理のパラメータ情報を使用して、前記記憶手段から、前記属性情報を取り出すことを特徴とする画像処理装置である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項２記載の発明は、請求項１記載の発明において、前記中間調処理のパラメータ情報とは、該中間調処理の位相、周期、波形、のいずれか１つの情報であることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項３記載の発明は、請求項１乃至２に記載の発明において、前記属性情報とは、前記印刷画像の格納場所、作成日時、および作成者、のうち少なくとも１つの情報であることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項４記載の発明は、請求項１乃至３に記載の発明において、前記印刷画像の複数の

色成分に対する複数の前記中間調処理のパラメータによって取りうる全組合わせ中の一部分に、使用しない組合わせを設けたことを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項５記載の発明は、請求項１乃至４に記載の発明において、各前記中間調処理のパラメータ値に対し、複数の前記属性情報との対応を、前記記憶手段に記憶することを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項６記載の発明は、請求項１乃至５に記載の発明において、前記検出手段は、前記画像データ中の基準位置を示すパターンに基づいて前記中間調処理のパラメータ情報を検出することを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項７記載の発明は、請求項１乃至６に記載の発明において、前記検出手段は、前記画像データ中、ある特定の範囲内のみで検出を行うことを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項８記載の発明は、印刷画像作成時に利用する中間調処理のパラメータ情報と、前記印刷画像の属性情報との、対応関係を記憶する記憶工程と、前記印刷画像を読取り、画像データを得る読取工程と、前記画像データから、前記印刷画像作成に使用された前記中間調処理のパラメータ情報を検出する検出工程と、を有し、前記中間調処理のパラメータ情報を使用して、前記記憶工程により記憶した前記属性情報を取り出すことを特徴とする画像処理方法である。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項９記載の発明は、請求項８に記載された画像処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とする画像処理プログラムである。